

# は な み ず き



権利擁護・虐待防止委員会だより

「権利擁護・虐待防止委員会」広報誌No.10を発行いたしました。  
今年度の各部の事業計画をお知らせいたします。  
今後も活動を一層推進していきますので、どうぞ皆様よろしくご協力をお願いいたします。

## 令和4年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 『権利擁護・虐待防止計画』 令和3年度評価から

社会福祉法人 北摂杉の子会  
権利擁護虐待防止委員会  
&  
身体拘束適正化委員会

# 令和4年度 事業計画

## 施設・部（権利擁護虐待防止委員会）

### ビジョン・あるべき姿

1. 杉の子マインドの浸透
2. 地域と共に
3. suginokobrand の確立
4. 多様な働き方
5. みんなで作る法人

### 令和3年度の取り組みの成果と課題

- 1 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。
  - ・委員会にて各部の計画の進捗管理を行った。どの部署も計画にそって取り組みを実施できた。
- 2 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。
  - ・クレドのポスターや名刺のデザイン等を整備し、クレドを意識できるようにした。9月には、クレドについての振り返りチェックを行った。
- 3 PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する
  - ・全ての部署で表出コミュニケーションの取り組みを実施した。
- 4 メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる
  - ・全ての部署でメンター制度を開始。話しやすい雰囲気を作るなど孤立防止につながっている。
- 5 ご利用者地域に出る取り組みを行うことで、地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する
  - ・コロナ禍ではあったが、例年と変わらず地域に出た取り組みを実施した。

### 令和4年度 重要実施事項

- 1 権利擁護虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を統合し、身体拘束についての知識を深め、身体拘束の指針の運用を推進する。
- 2 全ての事業所で権利擁護虐待防止計画を作成し、計画に沿った取り組みを実施し、委員会にて進捗管理を行う。
- 3 表出コミュニケーション支援を推進するなど、ご利用者の意思を尊重した支援を行う。
- 4 スタッフ間の豊かなコミュニケーションを推進することで、孤立防止やメンタルサポートの強化を図る。
- 5 ご利用者地域に出て、地域の方のポジティブな障害理解につなげる。
- 6 権利擁護虐待防止では、業界をリードした存在であり続ける。

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月18日	部署名：萩の杜	権利擁護虐待防止責任者：富 貴大
---------------	---------	------------------

**令和3年度評価（振り返り）**

計画	<p>各部目標：合理的配慮に基づく支援や“意思決定”、“表出コミュニケーション”支援に取り組む</p> <p>計画内容：</p> <p>①年2回、業務振り返りシートの実施</p> <p>②eラーニングの視聴を行い、権利擁護の意識を高める</p> <p>③中山清司氏のスーパーバイズを通して、合理的配慮に基づく支援を徹底する</p>
評価 成果 課題	<p><b>【目標の振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に萩の杜内で虐待事案が発生した。行政、他事業所にも意見をいただきながら、改善に向けて取り組んでいる。</li> <li>・上半期は月1回中山清司氏のスーパーバイズを行い、第3者の意見をいただきながら、合理的配慮に基づく支援を行なうように努めた。</li> <li>・4名 PECS の研修受講を行なった。また、門先生のスーパーバイズも行い、表出コミュニケーション、意思決定支援につなげた。</li> </ul> <p><b>【計画の振り返り】</b></p> <p>① 業務振り返りシートは年1回のみとなったため、次年度年2回行ない、自身の支援を振り返る機会を作る。</p> <p>② 新入職の方にはeラーニングの権利擁護を視聴していただいた。</p> <p>③ 上半期は月1回事業所訪問していただき、ケース相談を行い、合理的配慮に基づく支援を行なうように努めた。下半期は中山清司氏の体調不良により、スーパーバイズは行えなかった。</p>

**令和4年度事業計画**

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・支援の質の向上チーム支援の強化を図り、虐待件数を0にする。
計画 内容	<p>① 全職員に倫理綱領を配布し、支援の基本姿勢を再認識する。</p> <p>② 年2回業務振り返りシートの実施、権利擁護虐待防止クレドの振り返りを行うことで、人権意識を高める。</p> <p>③ 職員に学びたい内容の研修希望調査を行い、結果を基に、内部研修の実施し、利用者支援の向上や障害理解を深める。</p> <p>④ 中山清司氏のスーパーバイズを通して、合理的配慮に基づく支援を徹底する。</p> <p>⑤ 法人内部の PECS のスーパーバイズと連携し、表出のコミュニケーション意思決定支援を行なう。</p>

**令和4年度実施計画**

月	2021年度実施内容		備考
4月	・倫理考慮を配布し、支援の基本姿勢を振り返る。	10月	
5月	・中山さん SV ・業務振り返りシートの実施	11月	・中山さん SV

6月	・内部研修計画・立案	12月	・萩の杜実践報告会
7月	・中山さん SV	1月	・
8月	・内部研修実施	2月	・業務振り返りシートの実施
9月	・中山さん SV	3月	

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月 日	部署名：レジデンスなさはら	権利擁護虐待防止責任者：伊名岡 宏
--------------	---------------	-------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：『人権を守る砦となる』</p> <p>計画内容：虐待件数0件を継続する</p> <p>意思決定支援を進めご利用者1人1人に説明できる個別支援計画を作成、実施を行う</p> <p>①クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を行うため内部表彰を継続実施ししていく。</p> <p>②トーキングマット、PECS 継続し意思決定支援（表出、形成）を継続する。</p> <p>③サポートブックを更新していく。</p> <p>④個別支援計画フォームをご利用者1人1人に合わせてフォームを改定し、ご利用者に説明する。モニタリング時もトーキングマット等を活用しながら、ご利用者の意思を確認していく。</p> <p>④雑談システム、夜勤者ミーティングを実施し、職員間のコミュニケーションを促進する</p> <p>⑥レジデンスなさはらで個人情報保護について工夫できる点がないか検討する。</p> <p>⑦アンガーマネジメント研修の継続実施を行いつつ、自己理解、他者理解を進めていく。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援が進み前進した反面、陽性者対応で人権を尊重できない場面もあった</li> </ul> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画は実施できているが、上記の通り、目標達成とまではいかなかった。</li> </ul>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・「代理」「代弁」を減らし本人が参加している会議、本人が理解できる個別支援計画を作成する
計画 内容	<p>①クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を行う</p> <p>②トーキングマット、PECS 継続し意思決定支援（表出、形成）を継続する。</p> <p>③個別支援計画フォームをご利用者1人1人に合わせてフォームを改定し、ご利用者に説明する。モニタリング時もトーキングマット等を活用しながら、ご利用者の意思を確認していく。</p> <p>④個別支援面談に本人も参加できる方は参加していただく</p> <p>⑤レジデンスなさはらで個人情報保護について工夫できる点がないか検討する。</p> <p>⑥アンガーマネジメント研修の継続実施を行いつつ、自己理解、他者理解を進めていく。</p>

令和4年度実施計画 ③④は個々の面談時に実施する

月	2022年度実施内容		備考
4月	・3か条振り返り	10月	・トーキングマット研修受講
5月	・	11月	・サポートブック更新 ・個人情報保護研修
6月	・PECS®レベル1ワークショップ	12月	・3か条振り返り
7月	・トーキングマット研修受講	1月	・
8月	・トーキングマット研修受講	2月	・
9月	・アンガーマネジメント研修実施	3月	・

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日:令和4年4月19日	部署名:レジデンスなさはら2丁目	権利擁護虐待防止責任者:伊名岡宏
---------------	------------------	------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン:「人権を守る砦となる」</p> <p>各部目標:「人権意識を高める」「障がい特性の理解を深め支援に活かす」</p> <p>計画内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① クレドの浸透を図る</li> <li>② 内部研修を実施し、人権や障がい特性を学べる機会を設定する</li> <li>③ 2丁目の基本理念を改訂する</li> <li>④ 職員間のコミュニケーションを促進する</li> </ol>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の方針などがずれた際には週1回のミーティングやそれ以外の場で改めてひとり一人の特性や意思について見直した</li> </ul> <p>【計画の振り返り】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ・クレドを名刺の裏に記入、その中の環境整備4Sがこの1年しっかりできなかった ・9月にはクレドの振り返りを行った</li> <li>② ・障害特性の理解について1度だけ行い学べる機会を設けた</li> <li>③ ・2丁目の基本理念を改訂は実施できていない</li> <li>④ ・以前までは月1回のミーティングを今年度から週1回実施し支援が以前より進んだ ・メンター制度を実施し、新人職員に対し雑談や支援などの相談を定期的に行えた</li> </ol>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	「人権意識のさらなる向上のため、統一したモットーを掲げる。」
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 2丁目のモットーを作成する。</li> <li>② 人権委員会を立ち上げ、人権意識のさらなる浸透を図る。</li> <li>③ 年間3回の人権を盛り込んだ研修等を実施する。（年間3回、5月、10月、2月）</li> <li>④ 「意思決定支援」「意思形成支援」に関する研修を実施する（年間最低1回）</li> <li>⑤ 「ご利用者の余暇の充実」と「地域の皆さんのポジティブな障害理解」を目的に、積極的に地域に出かけていく。また 地域資源(医療関係 買い物関係 余暇関係 )を開拓し「ご利用者の豊かな暮らしの実現」を目的に支援を活かしていく</li> </ol>

令和4年度実施計画

月	2022年度実施内容		備考
4月	・人権委員会立ち上げ	10月	・2丁目の強みを活かした支援について検討 今後の展開を考える ・人権研修
5月	・2丁目の強みについて、検討する機会をつくる	11月	・サポートブック更新

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討に入り基本理念を作成</li> <li>・人権研修</li> </ul>		
6月	・	12月	・基本理念の振り返り
7月	・	1月	・
8月	・	2月	・人権研修
9月	・	3月	

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月20日	部署名：レジデンスなさはらもとまち	権利擁護虐待防止責任者：辻本紗弥
---------------	-------------------	------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：『人権を守る砦となる』</p> <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① もとまち基本理念のふりかえりチェックについて検討、実施を行う。合わせて法人クレドのふりかえりチェックも行う。</li> <li>② コミュニケーション支援を継続、また実施するご利用者様を広げていく。</li> <li>③ サポートブックの更新を行う。</li> <li>④ 意思決定支援会議実施に向けて、意思決定についての勉強会を実施する。</li> <li>⑤ ニーズ調査を行い、ご本人のニーズの把握を行い、支援計画につなげる。</li> <li>⑥ 雑談システムを継続し、職員間のスムーズなコミュニケーションを図る。</li> <li>⑦ 定期的に夜勤者ミーティングを実施する。</li> </ol>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援について学ぶことで、「人権」についての意識向上となった。</li> <li>・一方で、ご利用者様対応の際に、ご本人の人権を無視した言動がみられることがあった。</li> </ul> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①～⑦まで計画通りに進めることができた。</li> <li>・しかし、成果が出るまでに至らないこともあった。</li> </ul>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	ご利用者様の「意思」について理解を深め、日々の支援を広げていく。
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① クレド、もとまち基本理念「笑顔でもっとマッチ」の浸透を目指して、振り返りチェックを実施する。</li> <li>② 意思決定支援、コミュニケーション支援の幅を広げる。</li> <li>③ ニーズ調査を行い、ご本人の意思を反映させた支援計画を作成する。</li> <li>④ ご利用者様の生活環境の向上を目指し、掃除などの業務整理を行う。</li> <li>⑤ もとまち塾を実施し、人権について学ぶ機会を設定する。</li> </ol>

令和4年度実施計画 ③④は個々の面談時に実施する

月	2022年度実施内容		備考
4月	・日中業務（掃除など）、衣替えの整理実施	10月	
5月	・もとまち塾開始 ・スタッフ個別研修計画作成	11月	・サポートブック更新
6月	・ニーズ調査表配布	12月	・ニーズ調査表、満足・不満足調査配布
7月		1月	・
8月		2月	・
9月	・クレド、もとまち基本理念ふりかえり	3月	・



権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月17日	部署名：ジョブサイトひむろ	権利擁護虐待防止責任者：森田耕平
---------------	---------------	------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① PECS、トーキングマット等、意思決定、表出コミュニケーション支援に継続して取り組み、定期的に研修会、実践報告会を行う。</li> <li>② 各グループで1ケース以上、PECS IV+等のICTを導入し、表出コミュニケーション支援に活用する。</li> <li>③ モニタリング、個別支援計画書策定時のご利用者に対する面談フォーマットを整備し、事業所内での標準化を図る。</li> <li>④ 事業所内で絵カードを使用し、販売や注文する模擬体験の機会を設け、地域での活動に使用できるようにする。</li> </ol>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>コロナ禍のため、従前通りとはいかなかったが、感染症対策を講じたうえで、ご利用者の生活や支援の質を落とさないよう、サービス提供の創意工夫を行った。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・門先生のPECSのZoom研修会については、3回に分けて視聴会を実施した。10月のSVの際には、支援現場にて直接、および動画を見ながらSVをしていただき、2月の法人研修の際にはSVを受けたケースの事例報告も行った。</li> <li>・デジタルPECSについては、補助金でiPad、アプリを購入したが、使用方法等、現場での活用には課題が残った。</li> <li>・モニタリング、個別支援計画書の策定の際に、ご利用者の意思確認のツールとして、トーキングマット活用したが、面談フォーマットの整備が遅れたため、事業所全体で標準化するまでには至らなかった。</li> <li>・コロナ禍の影響で、実際に地域に出て絵カードを使用することはできなかったが、事業所内のお祭りの模擬店で体験の機会を設けることができた。</li> </ul>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 法人全体の実施タイミングで、クレドの振り返りチェックを行う</li> <li>② 権利擁護、虐待防止に関する研修会を年2回開催し、全職員が受講する。</li> <li>③ ご利用者の意思決定、表出コミュニケーション支援を推進する。</li> <li>④ 実習生、ボランティア、見学者の受け入れを積極的に行う。</li> </ol>

令和4年度実施計画

月	2022年度実施内容	月	備考
4月	令和3年度事業計画策定	10月	上期振り返り、下期に向けての修正、見直し

	e-ラーニングログイン会		
5月	(引越し)	11月	
6月	SV研修(特性、構造化に関する講義)	12月	権利擁護虐待防止研修
7月	権利擁護虐待防止研修	1月	
8月	振り返りチェックシート検討	2月	下期振り返り、年間振り返り
9月	振り返りチェックシート実施	3月	内部研修(SV報告会) 次年度目標、計画の検討

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月12日	部署名：ぶれいす Be	権利擁護虐待防止責任者：松本 理恵
---------------	-------------	-------------------

**令和3年度評価（振り返り）**

計画	<p>各部目標：・表出コミュニケーション支援をさらに進める</p> <p>・権利擁護・虐待防止について、クレド業務の振り返りを行い、チームリーダーを中心に施設全体の課題を共有する。</p> <p>計画内容：</p> <p>① PECS 研修の受講（2名予定）</p> <p>② 業務振り返りシートの実施、会議での検証を実施</p> <p>③ 法人内の PECS 実践報告に参加、実践の発表を行う</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・生活介護チームで、写真カードを使って余暇グッズの選択や作業終了の報告、援助要求の取り組みを行い、表出コミュニケーション支援を進めた。</p> <p>・各チームの日々の支援について振り返りを行い、課題について共有を行った。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>① PECS の研修に生活介護チームのスタッフ2名が参加した。</p> <p>② 全職員対象に eラーニングのコンテンツを活用し、権利擁護の研修を実施した。研修後、各チームで日々の支援に関しての振り返りを行った。</p>

**令和4年度事業計画**

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重心を含めた身体拘束適正化のための行動指針を作成する。</li> <li>・権利擁護虐待防止に対する正しい知識を全職員に浸透させる。</li> <li>・表出コミュニケーション支援を進め、ご利用者のニーズベースの支援を行う。</li> </ul>
計画 内容	<p>① 身体拘束適正化の行動指針に関わる書式の整備を行う。事業所内で定期的にモニタリングを行い、対応方法についての振り返りと改善策を検証する。</p> <p>② 全職員対象に権利擁護虐待防止の研修を行う（必修研修とする）。併せてグループワークを実施し日々の支援についての振り返りを行う。</p> <p>③ PECS レベル1 ワークショップに新たに職員2名を受講させる。</p>

**令和4年度実施計画**

月	2021 年度実施内容	備 考
4 月	・	・
5 月	・権利擁護虐待防止研修の実施（全職員対象） 日々の支援の振り返りグループワーク（～9月まで）	講師は管理職が行う
6 月	・	
7 月	・PECS レベル1 ワークショップに参加（職員2名）	
8 月	・身体拘束適正化の書式の検討	リスクマネジメント委員会
9 月	・身体拘束適正化の書式の整備	〃
10 月	・身体拘束適正化の書式の実施	

11月	・	・
12月	・身体拘束適正化モニタリング実施	リスクマネジメント委員会、 各チーム
1月	・	・
2月	・	・
3月	・	・

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月8日	部署名：ジョブサイトよど	権利擁護虐待防止責任者：中垣内貴恵
--------------	--------------	-------------------

**令和3年度評価（振り返り）**

計画	<p>各部目標：ご本人中心の視点をさらに深め、よりよい代弁者となる。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 意思決定支援の学習を進め、実践する。</p> <p>② 各職員の気づきを深めるための研修実施やチームとしての権利擁護機能を高める。</p> <p>③ 満足度調査の実施と分析から業務改善を進めていく。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・ご本人中心の視点を意識して取り組む雰囲気が事業所全体にはあったが、実施しているかどうかは各フロアでばらつきがあった。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>① 意思決定支援を意識して、支援に生かすことができた。事例発表も行い、事業所全体で支援の内容など共有する機会を設けた。</p> <p>② 権利擁護機能を高めるに至らず、権利擁護などの言葉を事業所内で聞くこと自体も少なかった印象がある。今年度より事業所内で虐待防止委員会を設立、にあたり、気づきを深める研修なども定期的に行い、委員会の活性化を図りたい。</p> <p>③ 満足度調査の分析から4Sに重点をおき、すぐに取り組める清掃を事業所全体で取り組んだ。より衛生面を保つため美化リレーの実施方法も検討、変更した。</p> <p>担当者が代わるたびに情報がしっかり引き継がれているかどうかという声もあったため、引き継ぎの方法や必ず引き継ぐ内容にも着目し、今年度中に整理をしていく予定。</p>

**令和4年度事業計画**

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・人権について整理し、理解を深める。
計画 内容	<p>① 事業所内に BeHappy プロジェクト（権利擁護・虐待防止委員会）を設置する。</p> <p>② クレドや目指す職員像について理解を深める。</p> <p>③ 関係機関と連携をとり、総合的な支援を行なっていく。</p>

**令和4年度実施計画**

月	2021年度実施内容		備考
4月	<p>・目指す職員像を全体で振り返る勉強会 16時45分～</p> <p>・法人委員会参加（鎌田）</p>	10月	<p>・目指す職員像振り返り（各フロア）</p> <p>・法人委員会参加（黒木・下飼）</p>
5月	<p>・鎌田（5/19）</p> <p>（勉強会・権利擁護虐待防止委員会の報告：以下振り返り）</p> <p>・中垣内</p> <p>（BeHappy プロジェクトでお願いしたいことの共有）</p>	11月	<p>・黒木、下飼（11/17 勉強会・振り返り）</p>

6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査実施</li> <li>・法人委員会参加（西澤）</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人委員会参加（桑原）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西澤（7/12 勉強会・振り返り）</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑原（1/19 勉強会・振り返り）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修で講義を依頼予定（金講師）</li> <li>・法人委員会参加（松田）</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人委員会参加（大野）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員への振り返りチェックシート</li> <li>・松田（9/15 勉強会・振り返り）</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員への振り返りチェックシート</li> <li>・事例発表</li> <li>・大野（3/16 勉強会・振り返り）</li> </ul>

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月18日	部署名：ジェイ・ランチよど	権利擁護虐待防止責任者：久保 英樹 委員：桶谷 幸祐・中尾 尚生
---------------	---------------	-------------------------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	各部目標：ご本人中心の視点をさらに深め、よりよい代弁者となる。 計画内容： ① 意思決定支援の学習を進め、実践する。 ② 各職員の気づきを深めるための研修実施やチームとしての権利擁護機能を高める。 ③ 満足度調査の実施と分析から業務改善を進めていく。
評価 成果 課題	【目標の振り返り】 ・就Aへの移行などご本人のチャレンジに対して、関係機関との連携をとり達成できた。 ・代弁者としての機能は今後も継続して行なう。 【計画の振り返り】 ・重度の方だけでなく中軽度の方の意思決定に関する学習を進める必要がある。 ・満足度調査の継続を行なう。

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・改めて人権について整理し、理解を深める。
計画 内容	① 事業所内に権利擁護・虐待防止委員会を設置する。 ② クレドや目指す職員像について理解を深める。 ③ 関係機関と連携をとり、総合的な支援を行なっていく。

令和4年度実施計画

月	令和4年度実施内容		備考
4月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加	10月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加
5月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催	11月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催 人権研修
6月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加	12月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加
7月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催	1月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催
8月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加	2月	・法人の権利擁護・虐待防止委員会への参加
9月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催 振り返りチェックシート	3月	・事業所内の権利擁護・虐待防止委員会開催 振り返りチェックシート

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日:令和4年3月23日	部署名: レジデンスよど三津屋北ホーム	権利擁護虐待防止責任者:丸尾明子 委員: <u>高木萌美、小山和希、木下菜菜子</u> <u>下裕幸、原田智弘</u>
---------------	------------------------	---

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：ご本人中心の視点をさらに深め、よりよい代弁者となる。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 意思決定支援の学習を進め、実践する。</p> <p>② 各職員の気づきを深めるための研修実施やチームとしての権利擁護機能を高める。</p> <p>③ 満足度調査の実施と分析から業務改善を進めていく。</p>
評価 成果 課題	<p><b>【目標の振り返り】</b></p> <p>ご本人目線の個別支援計画の作成や、ご家族ニーズのみでなくご本人にニーズについて考える機会を持った。より良い代弁者となれるよう、引き続き邁進したい。</p> <p><b>【計画の振り返り】</b></p> <p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援員への振り返りチェックシート実施（9月）</li> <li>・ 利用者、ご家族への満足度調査実施（10月）</li> <li>・ 満足度調査振り返りとそこからの業務改善（11月）</li> <li>・ ジョブサイトよどの全体研修にて「AAC(拡大・代替コミュニケーション)研修」に一部職員が参加。（12月）</li> <li>・ 権利擁護・虐待防止研修とグレーゾーンアンケートの実施（3月）</li> </ul> <p>（評価・課題）</p> <p>「権利擁護・虐待防止研修」の時期が、数か月ずれ込んだが、計画は全て実施できた。「権利擁護・虐待防止研修」を実施後にグレーゾーンのアンケートを事業所内で取ったところ、具体的なグレーゾーン事例がたくさん挙がった以外でも、『日々普通に対応している中でもグレーゾーンにあてはまる行動があるかもしれないと思い、自分の対応を振り返ろうと思った』というような回答もあり、それぞれ自分の支援を見直す良いきっかけになったと感じる。</p> <p>「意思決定支援の学習」の部分で、研修参加形式のみだと一部職員しか受講ができない為、ZOOM録画機能を使用し、今後、時間差でも研修が受講できるよう調整したい。</p>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	<p>（1）ご利用者個人の障害特性に基づいた根拠ある支援をおこないます。</p> <p>（2）権利擁護・虐待防止の意識を高めます。</p> <p>（3）意思表出や意思形成の支援をおこないます。</p>
計画 内容	<p>① 半年に1度、支援員への振り返りチェックシートを実施します。</p> <p>② 「人権」と「意思決定支援」に関する内部研修を1回以上実施します。</p>



	<p>③ 2週に1度のフロアミーティングを行ない、障がい特性の理解を深め、対応困難事例を共有・検討します。</p> <p>④ 年1回、ご利用者・ご家族それぞれへの満足度調査を実施します。</p> <p>⑤ 虐待防止委員会の設置と会議の開催をします（2ヵ月に1回）。</p>
--	--

令和4年度実施計画

月	2022年度実施内容		備考
4月	(・法人内虐待防止委員会への参加)	10月	・満足度調査(ご家族・利用者それぞれ)の実施 (・法人内虐待防止委員会への参加)
5月	・事業所内虐待防止委員会会議の実施	11月	・事業所内虐待防止委員会会議の実施
6月	(・法人内虐待防止委員会への参加) ・意思決定支援研修	12月	・人権研修 (・法人内虐待防止委員会への参加)
7月	・事業所内虐待防止委員会会議の実施	1月	・事業所内虐待防止委員会会議の実施
8月	(・法人内虐待防止委員会への参加)	2月	(・法人内虐待防止委員会への参加)
9月	・支援員への振り返りチェックシートを実施 ・事業所内虐待防止委員会会議の実施	3月	・支援員への振り返りチェックシートを実施 ・事業所内虐待防止委員会会議の実施

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月1日	部署名：児童発達支援部（an）	権利擁護虐待防止責任者：西ヶ峯佐登子
--------------	-----------------	--------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく</p> <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。</li> <li>② 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。</li> <li>③ PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。</li> <li>④ メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。</li> <li>⑤ ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する</li> </ol>
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地区会議・部会議での情報共有を行った。現場職員への情報共有は課題。</li> <li>② 権利擁護虐待防止クレドを事業所に掲示したが e-ラーニングの「クレド」のコンテンツを活用することが出来なかったため、e-ラーニングの仕組みをより活用した研修実施を検討した。</li> <li>③ 門先生による PECS の SV を受け、表出コミュニケーション支援について、地区全体で学ぶことができた。</li> <li>④ メンター制度対象者がいなかったため、大阪地区・あゆみで内部研修や合同ケース会議を実施、大阪地区の職員があゆみでの療育や行事に参加した。また、ケースを地区職員で担当する機会を持つなど、職員間のコミュニケーションの機会を設定し事業所間交流を積極的に実施した。</li> <li>⑤ 療育の中で、地域のコンビニエンスストアに買い物に行くなど、ご利用者と地域に出る取り組みを実施できた。</li> </ol>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 全ての事業所で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 →委員会に出席する職員を増やし、現場職員への共有をより進めていく。</li> <li>② 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。 →e-ラーニングの研修「クレド」のコンテンツを視聴し、事業所会議で共有する。</li> <li>③ PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。 →PECS の実践について進めていく。また、実践をまとめ機会を活用する（門先生の SV など）</li> <li>④ メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。 →引き続き、地区を超えた交流研修を積極的に実施する。また、メンター制度を実施し年度末に振り返りを行う。</li> </ol>

⑤ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する  
→地域の資源を活用するような支援を検討し、実施する。

令和4年度実施計画

月	令和4年度実施内容		備考
4月	・ひやりはっと会議の開催 ・クレド・職員行動チェックリストについて	10月	・ひやりはっと会議の開催 ・事業所間交流の実施（あゆみ行事）
5月	・ひやりはっと会議の開催 ・e-ラーニング「クレド」コンテンツ視聴	11月	・ひやりはっと会議の開催 ・事業所間交流の実施（あゆみ行事）
6月	・ひやりはっと会議の開催 ・職員との面談を実施	12月	・ひやりはっと会議の開催 ・事業所間交流の実施（あゆみ行事・部内ケース会議） ・職員との面談を実施
7月	・ひやりはっと会議の開催 ・事業所間交流の実施（部内ケース会議）	1月	・ひやりはっと会議の開催 ・クレド・職員行動チェックリストの振り返り
8月	・ひやりはっと会議の開催 ・事業所間交流の実施（部内ケース会議） ・虐待防止身体拘束適正化研修及び訓練 ・事業所間交流の実施（あゆみ行事）	2月	・ひやりはっと会議の開催 ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り
9月	・ひやりはっと会議の開催	3月	・ひやりはっと会議の開催 ・次年度の事業計画の作成

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月1日	部署名：児童発達支援部 (will/Link)	権利擁護虐待防止責任者： 新谷 沙弥香 (will) 薬師寺 朱南 (Link)
--------------	----------------------------	--

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部門目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく</p> <p>計画内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。</li> <li>②権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。</li> <li>③PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。</li> <li>④メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。</li> <li>⑤ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する</li> </ul>
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地区会議・部会議での情報共有を行った。</li> <li>② 9月にクレドに関する行動チェックリストの記入と、職員行動チェックリストの記入を職員に対し実施した。管理者が浸透度をチェックすることができたが、職員のフィードバックはまだ至っていなかった。</li> <li>③ 門先生による PECS のSVを受け、表出コミュニケーション支援について、地区全体で学ぶことができた。個々の事業所での理解にとどまらず、地区ごとに情報共有を行うことが次の課題となる。</li> <li>④ 管理者と職員の定期面談を定期的実施し、現状把握とメンタルの管理に努めた。ケース会議の場を設け、担当ケースに限らず、様々な視点から意見交換ができた。</li> <li>⑤ コロナ禍により、積極的に地域に出る取り組みを実施することはできなかった。</li> </ul>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての事業所で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 →委員会に出席する職員を増やし、現場職員への共有をより進めていく。</li> <li>②権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。 →e-ラーニングの研修「クレド」のコンテンツを視聴し、事業所会議で共有する。 →引き続き「クレド」のチェックリスト・職員行動チェックリストを実施する。</li> <li>③PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。 →PECSの実践について進めていく。事業所を超えた情報の共有も行っていく。</li> <li>④メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。 →引き続き、地区を超えた交流研修を積極的に実施する。また、メンター制度を実施し年度末に振り返りを行う。</li> </ul>

⑤ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する  
→地域の資源を活用するような支援を検討し、実施する。

令和4年度実施計画

月	令和4年度実施内容		備考
4月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施	10月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施
5月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・e-ラーニング「クレド」コンテンツ視聴	11月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施
6月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・職員との面談を実施	12月	ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・事業所間交流の実施（部内ケース会議） ・職員との面談を実施
7月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・事業所間交流の実施（部内ケース会議）	1月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・クレド・職員行動チェックリストの振り返り
8月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・事業所間交流の実施（部内ケース会議） ・虐待防止身体拘束適正化研修及び訓練	2月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り
9月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・クレド・職員行動チェックリストの実施	3月	・ひやりはっと会議（スタッフ会議内で）実施 ・次年度の事業計画の作成

※事業所間交流は時期を見て実施。

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月1日	部署名：児童発達支援部（あゆみ）	権利擁護虐待防止責任者：岩城 望
--------------	------------------	------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部門目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく</p> <p>計画内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。</li> <li>・権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。</li> <li>・PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。</li> <li>・メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。</li> <li>・ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する</li> </ul>
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地区会議・部会議での情報共有を行った。現場職員への情報共有は課題。</li> <li>② e-ラーニングの「クレド」のコンテンツを視聴+レポート提出を予定通り実施できたが、紙面でのレポートであったため、e-ラーニングの仕組みをより活用した研修実施を検討したい。</li> <li>③ 門先生による PECS の SV を受け、表出コミュニケーション支援について事業所全体で学ぶことができた。</li> <li>④ 1年目職員（1名）に対しメンターを実施した。初年度であったため、次年度実施してから改めて課題について振り返りたい。</li> <li>⑤ コロナ禍であったが、万博公園での親子遠足や、事業所近くの公園への散歩など実施した。また、豊中市児童発達支援センターや公立こども園へ職員が出向く機会を設定し、積極的に地域とのかかわりを意識した取り組みを実施できた。</li> </ol>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 全ての事業所で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 →委員会に出席する職員を増やし、現場職員への共有をより進めていく。</li> <li>② 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。 →e-ラーニングの研修「クレド」のコンテンツを視聴し、視聴した後にレポートを提出。</li> <li>③ PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。 →PECS 担当者を中心に、PECS の実践について進めていく。また、実践をまとめ発表する機会を活用する（PECS サークル、門先生の SV など）</li> <li>④ メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。 →引き続き、地区を超えた交流研修を積極的に実施する。また、メンター制度を実施し年度末に振り返りを行う。</li> <li>⑤ ご利用者と地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する →地域の資源を活用するような支援を検討し、実施する。</li> </ol>

令和4年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・事業所間交流の実施</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・事業所間交流の実施（あゆみ行事）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・クレド、職員行動チェックリストを実施</li> <li>・e-ラーニング「クレド」コンテンツ視聴</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・事業所間交流の実施（あゆみ行事）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・職員との面談を実施</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・事業所間交流の実施（あゆみ行事・部内ケース会議）</li> <li>・職員との面談を実施</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・事業所間交流の実施（部内ケース会議）</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催（あゆみ）</li> <li>・事業所間交流の実施（部内ケース会議）</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催（あゆみ）</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと係会議の開催</li> <li>・次年度の事業計画の作成</li> </ul>

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月18日	部署名：すぎのご訪問看護ステーション	権利擁護虐待防止責任者：小林 哲理
---------------	--------------------	-------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：その人らしい生活を送る権利を守る</p> <p>計画内容：定期的にミーティングで事例を持ち寄り、権利擁護・虐待防止の観点から検討する。</p> <p>① について、クレドの項目を具体的事例で検討していく。</p> <p>② 虐待防止に関する情報を共有し、意見交換する。</p> <p>③ 成人・未成年・年少者に関わらず言葉遣いに配慮する。</p> <p>④ 利用者の自己選択や、理解しやすい個別のスケジュールを作成するなど、わかりやすいツールを作成する。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・関係機関と連携を測り、虐待事案の訪問利用者に対して支援を継続した。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>・ミーティングの際に虐待防止について情報共有し、権利擁護の重要性を再認識できた。</p>

令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・日常業務の中で権利擁護の視点を持って支援に当たることができる
計画 内容	<p>① 権利擁護・虐待防止についてeラーニング等から学ぶ</p> <p>② 部署内の虐待案件について情報共有を行う</p> <p>③ 委員会での情報共有を行い法人全体として虐待防止の取り組みや虐待事案について知る</p>

令和4年度実施計画

月	2022年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の報告・情報共有</li> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部署内での虐待案件の共有</li> <li>eラーニングの視聴・ディスカッション</li> </ul>



権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年4月19日	部署名：アクトおおさか	権利擁護虐待防止責任者：岡あゆみ
---------------	-------------	------------------

令和3年度評価（振り返り）

<p>計画</p>	<p>各部目標：</p> <p>「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護の推進に努める。</p> <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期的なケース検討会議を行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や二次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。</li> <li>② スタッフ間の情報共有、意見交換を図り、相互に相談し合える環境作りを行い、スタッフのストレスマネジメントにも留意する。</li> <li>③ 相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等の在り方を周知すると共に通報義務を果たす。</li> <li>④ 公開講座等の普及啓発に関する事業の実施を通して、府民や関係機関に対して発達障がいの理解促進と権利擁護の推進に努める。</li> <li>⑤ 事業所内で北摂杉の子会クレドの周知、徹底を図る。</li> </ol>
<p>評価 成果 課題</p>	<p>【目標の振り返り】</p> <p>地域における虐待防止、差別解消及び、権利擁護の推進に資するため、上記の計画に沿って事業を実施した。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議を毎週実施するなかで、定期的に担当ケースの進捗状況を確認し共有してきた。担当相談員一人の視点ではなく多角的な視点から意見を出し合うことで、より適切な支援を行えるよう努めた。また、担当相談員が一人でケースを抱え込むのではなく、チームで共有するという体制が、相談員のストレスマネジメントにも良い効果をもたらした。</li> <li>・電話相談の中で、家庭内で子の障がい特性に合わない親の関わりが見受けられ、市の担当課と連携したケースが1件あった。ご家族が相談ニーズに適した窓口で支援を受けることができるよう、市の課と連絡調整を行ったところ、市の専門窓口での相談の優先順位が高いとの判断があり、ご家族に情報提供を行った。このケースに見られるような障がい特性に合わない関わりや、また不適切な支援が疑われるケースの対応について、大阪府内の2センター（大阪市発達障がい者支援センターエルムおおさか、堺市発達障害者支援センターアプリコット堺）とも情報共有し、相談受付時の聞き取り内容、アセスメントの手順、対応フロー等について情報共有をし、対応方法について協議した。</li> <li>・今年度は年3回の公開講座（支援者対象基礎、支援者対象応用、府民対象）を実施し、発達障がいの理解促進と権利擁護の推進に努めた。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom ウェビナーによるオンライン講座とした。支援者対象公開講座では、発達障がいに関する基礎的理解を促す講座や、昨年度に引き続き発達障がいの当事者の方にご講演いただいた。府民対象公開講座では大学入学に伴う進路選択をテーマとしたが、合理的配慮がキーワード</li> </ul>

	<p>として取り上げられており、差別解消法の法改正（合理的配慮義務）といった最新の情報も含め、広く合理的配慮の理解を促す機会となった。</p> <p>・名刺の裏にクレドを印刷したものを携帯した。外部機関との関わりが多い部署になるため、北摂杉の子会クレドの周知、徹底に貢献することができた。</p>
--	--

#### 令和4年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	直接支援、間接支援を通して、発達障がいのある方への合理的配慮の不提供、虐待等の権利侵害を防ぎ、発達障がいのある方が身近な地域で生涯にわたり自分らしく暮らすことができる社会の実現を目指す。
計画内容	<p>① ケース検討会議を毎週行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や二次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。</p> <p>② スタッフ間の情報共有、意見交換を図り、相互に相談し合える環境作りを行い、スタッフのストレスマネジメントにも留意する。</p> <p>③ ご本人を取り巻く家族や支援者に、見えづらい障がい特性や困り感、ニーズ等を代弁し、理解を促すことで、身近な地域で適切な支援が継続されるように支援を行う。</p> <p>④ 相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等の在り方を周知すると共に通報義務を果たす。</p> <p>⑤ 直接支援のみではなく、センター開設当初から事業の両輪と位置付けている間接支援の機能（発達障がい者地域支援力向上事業による市町村コンサルテーション、公開講座等による普及啓発等）を通して、府民や関係機関に対して発達障がいの理解促進と権利擁護の推進に努める。</p> <p>⑥ eラーニングを活用して、権利擁護に対する意識を高め、クレドの浸透に努める。視聴するだけではなく、ディスカッション等を通して、積極的に意見を出し合い、共通意識を持ったチームアプローチに繋げる。</p>

#### 令和4年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/週 ケース検討会議を実施（通年）</li> <li>・発達障がい者地域支援力向上事業（通年）</li> <li>・大阪府ペアレント・メンター事業（通年）</li> <li>・eラーニングの活用（通年）</li> <li>・自閉症啓発デ이의啓発イベント等に参加</li> </ul>	10月	
5月		11月	
6月		12月	・20周年記念事業 公開講座
7月	・連絡協議会	1月	・連絡協議会
8月	・公開講座（支援者対象）	2月	
9月		3月	

権利擁護・虐待防止（令和3年度評価 及び 令和4年事業計画案）

作成年月日：令和4年4月18日	部署名：ジョブジョイントおおさか、 JJ おおさかたかつきブランチ	虐待防止責任者： 安田麻美、本部有希
-----------------	--------------------------------------	-----------------------

令和3年度評価（振り返り）

計画	<p>■ 令和元年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズ・満足度を意識した組織風土づくり</li> </ul> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施</li> <li>・ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施と実施後に web サイトで公開する</li> <li>・業務の振り返りチェックシートの定期実施</li> </ul>
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の振り返りチェックシートは年間で2回実施。</li> <li>・利用者・ご家族満足度調査は実施ができなかった。</li> <li>・利用者ニーズに基づいた支援をするため、ケースミーティングをこまめに実施した</li> </ul>

令和4年 事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・利用者ニーズ・満足度を意識した組織風土づくり
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施</li> <li>・ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施と実施後に web サイトで公開する</li> <li>・業務の振り返りチェックシートの定期実施</li> <li>・職場における合理的配慮、意思決定支援等の勉強会を実施</li> </ul>

令和4年度実施計画

月	2021 年度実施内容		2021 年度実施内容
4月		10月	
5月	eラーニングを活用し内部研修	11月	ご利用者、ご家族満足度調査の実施
6月		12月	
7月	内部研修 (合理的配慮や意思決定支援について)	1月	
8月		2月	業務の振り返りチェックシートの使用
9月	業務の振り返りチェックシートの使用	3月	

権利擁護・虐待防止（令和3年度評価 及び 令和4年事業計画）

作成日：令和4年4月20日	部署名：LaLa-chocolat TAKATSUKI	虐待防止責任者：山田優
---------------	-----------------------------	-------------

**令和3年度評価（振り返り）**

計画	<p>各部目標：利用者ニーズ・満足度を意識した組織風土づくり</p> <p>計画内容：</p> <p>①eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施</p> <p>②ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施と実施後にwebサイトで公開する</p> <p>③業務の振り返りチェックシートの定期実施</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所としてクレドを作成し、毎日の確認と1週間ごとの振り返りを実施した。</li> <li>引き続きクレドの浸透を図り、スタッフの意識を高めていきたい。</li> </ul> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングの活用はできていないが、クレドの共有や障がい特性についてなど内部研修を実施した。</li> <li>・ご利用者、ご家族に対して満足度調査を実施した。</li> <li>・業務の振り返りチェックは1回のみの実施。次年度は頻度を高めて実施したい。</li> </ul>

**令和4年度事業計画**

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・利用者ニーズ・満足度を意識した組織風土づくり
計画 内容	<p>①クレドの浸透を図る</p> <p>②eラーニングのコンテンツ等を活用して、内部研修を実施</p> <p>③ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施</p> <p>④業務の振り返りチェックシートの定期実施</p>

**令和4年度実施計画**

月	2021年度実施内容		2021年度実施内容
4月	・クレドの振り返り	10月	・業務の振り返りチェックシートの使用 ・クレドの振り返り
5月	・業務の振り返りチェックシートの使用 ・クレドの振り返り	11月	・クレドの振り返り
6月	・クレドの振り返り	12月	・クレドの振り返り
7月	・クレドの振り返り	1月	・ご利用者、ご家族満足度調査の実施
8月	・eラーニングを活用し内部研修 ・クレドの振り返り	2月	・クレドの振り返り
9月	・クレドの振り返り	3月	・クレドの振り返り

権利擁護・虐待防止計画（2021年度評価 及び 2022年度事業計画）

作成日：2022年4月19日	部署名：相談支援部	権利擁護虐待防止責任者：渡邊
----------------	-----------	----------------

2021年度評価（振り返り）

計画	<p>各部目標：</p> <p>生きにくさを抱えるご相談者様の「生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 虐待の発見、通報に関する研修を実施する。</p> <p>② 虐待等が疑われるケースについては職員一人で抱え込まず所内で情報共有して対応する。</p> <p>③ ご利用者が意思決定していけるようご本人に合わせた支援方法を習得する。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・相談支援事業所では直接的な支援は少ないが相談者と地域の支援機関との調整の中で権利擁護に努めた。事業所内だけでなく、地域での権利擁護や支援の質の向上のために自立支援協議会での共有や「お金の管理とトラブルのはなし」をテーマにご家族や支援者向けの勉強会を実施した</p> <p>人材育成研修室では虐待事案のあった施設にコンサルテーションに入り、適切な支援について助言を実施している。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>① 虐待の発見、通報に関する研修は高槻市虐待防止センターに依頼し、高槻市での虐待防止の現状について学ぶ研修を企画したが感染症の状況をみて次年度に延期とした。</p> <p>② 定期的なケース会議でケースについては情報共有しながら対応する。関係機関とも連携を図るよう情報共有を行った。</p> <p>③ PECS研修の受講や、特性に合わせた面談技法の習得を図った。</p>

2022年度事業計画

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	<p>・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。</p> <p>・権利擁護虐待防止に対する正しい知識を浸透させる。</p>
計画 内容	<p>① 虐待防止・権利擁護に関する内部研修を実施する。</p> <p>② 虐待等が疑われるケースについては職員一人で抱え込まず所内で情報共有して対応する。</p> <p>③ 部内で北摂杉の子会クレドの周知し、クレドに沿った支援を進める。</p>

2022年度実施計画

月	2022年度実施内容	備考
4月	<p>・クレドに関するポスター等を掲示する。</p> <p>・ケース会議等で情報共有（毎月）</p>	・虐待防止に関する研修の実施
5月	・権利擁護虐待防止研修の実施	・ぷれいすBeの研修に参加

	日々の支援の振り返りグループワーク（～9月まで	
6月	・	・
7月	・	・
8月	・	・
9月	・振り返りチェック	

権利擁護・虐待防止計画（令和3年度評価 及び 令和4年度事業計画）

作成日：令和4年 月 日	部署名：法人事業部	権利擁護虐待防止責任者：佐々木 寛昭
--------------	-----------	--------------------

**令和3年度評価（振り返り）**

計画	各部目標：法人の権利擁護虐待防止を進める。 計画内容：広報を進める。 ① 年2回広報をする。
評価 成果 課題	【目標の振り返り】 ・年1回広報を実施した。 【計画の振り返り】 ・次年度は年2回広報できるようにする。

**令和4年度事業計画**

ビジョン	『杉の子マインドの浸透』（北摂杉の子会が大切にしてきた人権意識のさらなる浸透）
目標	・法人の権利擁護虐待防止を進める。
計画 内容	① 年2回広報を実施する。

**令和4年度実施計画**

月	2021年度実施内容		備考
4月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。	10月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。
5月	・法人の実施計画を広報する。	11月	・活動を広報する。
6月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。	12月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。
7月	・	1月	・
8月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。	2月	・権利擁護虐待防止委員会出席する。
9月	・	3月	